

【韓国】

7-8 月の市場動向トピックス

- 2018 年 7 月の訪日韓国人数は、前年同月比 5.6%減の 608,000 人であった。
- 2018 年 8 月の訪日韓国人数は、前年同月比 4.3%減の 593,900 人であった。
- 6 月 18 日に発生した大阪北部地震の影響による大阪を中心とする関西エリアへの旅行商品の新規予約が不振であったことに加えて、7 月から 8 月にかけて記録的な日本全国の猛暑の影響で、訪日時期を 9 月以降に延期する動きが見られたことで、7 月および 8 月は伸び率がマイナスとなった。

7-8 月の主なプロモーション活動

- フォロワー数約 190 万人を誇る韓国の SNS 旅行チャンネル「Travel Factory」とタイアップし、“癒し”をテーマに道頓堀(大阪府)、六甲山・姫路城(兵庫県)、倉敷・後樂園(岡山県)などを舞台とする動画を制作し、30 秒動画では 8 月上旬より SNS キャンペーンと絡めシネアド、オンライン広告を展開。8 月下旬に「Travel Factory」が投稿した 3 分動画は、10 日間でいいね！ 5,300 回、コメント 1,400 件、シェア 1,500 件、再生 37 万回を超え、大阪北部地震および西日本豪雨被災地域のポジティブなイメージを拡散した。



Facebook チャンネル「Travel Factory」タイアップ動画

- 6 月に発生した大阪府北部地震以降、特に韓国からの訪日数が伸び悩む関西地域への誘客を図るため、8 月上旬から韓国 LCC のジンエアーと共同広告を実施。秋の連休(チュソク:旧盆)の時期に向け、お得な旅行商品の販売支援を行うことで、当該地域への誘客促進を図った。



共同広告